京城日報 朝刊

ルーズベルトの指令に基いて 重慶連日の敗戰會議

ラチモア 蔣に親書手交

【廣東十八日同盟】重慶來電によれば約一年ぶりで重慶に歸任した蔣介石政治顧問オーエン・ラチモアは十五日蔣介石と會見、ルーズベルトの親書を手交し種々協議を行つたが、爾來連日にわたつて蔣介石および財政部長孔祥熙、軍政部長何應欽らと會談協議をつづけてゐるといはれる、右會談の内容は嚴秘に附されてゐるが、消息筋の傳へるところによれば、現下の世界戰局の推移を中心に聯合國側の態度、ことに印度問題、西南太平洋の戰局を基礎に軍政兩面に及ぶ共同工作が俎上に上つてゐるものとみられてゐる、なほラチモアはルーズベルトより孔祥熙宛の書翰においてルーズベルトは重慶の戰時財政改革なかんづくインフレ對策につき深甚の關心を有する旨述べてゐると傳へられる

哀れ絶望の抗戰へ ビルマ敗退の重慶軍

【廣東十八日同盟】ビルマ戡定作戰において疾風枯葉を卷くわが猛進擊に遭つて慘敗を喫したビルマ派遣重慶軍は第一路軍司令官羅卓英麾下の第五、第六兩軍及び第一路軍直轄部隊として雲南國境に配備されてゐた黃琪翔麾下の三ケ師であつたが、同軍のビルマ慘敗後の狀況がこのほど當地に達した情報により明らかにされた、すなはち指揮官との連絡さへ失つた第五第六軍の一部は雪崩れを打つて敗走し、辛くも雲南省怒江一帶に逃入したが、第三十八師および新編第二十二師はビルマ北部の山中に遁竄、その他の部隊は大部分支離滅裂となつて山中を彷徨した擧句やうやく印度に辿りつき印度駐屯英軍の補に組つて米國製兵器の支給をうけて態勢を建直し、新に黃琪翔を總指揮官として編成名稱も『中國遠征第一軍團』と呼稱されてゐるといはれるが、彼らは今や歸國の道もなく結局緣慮なき米英軍の楯として再び望みなき抗戰へ狩り立てらるべき悲慘な運命にある

國民兵團を組織

重慶兵員補充に躍起

【廣東十六日同盟】抗戰體制の建直しに躍起の重慶では兵員補充難に當面し、十月七日より十日まで兵役會議を開催、徵集強化の具體策について愼重協議を重ねた結果十八歲より四十五歲までの男子は全部豫備兵役に服せしめる國民兵團の組織を決定した、このため重慶治下民衆に大恐怖を來さしめてゐる

すなはち同會議席上內政部長周鍾嶽は新縣政においては國民兵團の組織訓練をはかり戶籍法施行に際しては國民兵身分證明書の交付を確實に實施すべきであると力說したが當局よりの情報によれば右新縣政による第一次戶口調査はすでに大體終了、各戶十八歲より四十五歲までの男子には國民兵團身分證明書の交付を終り、その交付をうけたものは豫備兵役に服する義務が生じたわけであるが、さらに十五日身分證明書を所持せざるものおよび前回の調査に洩れたものは即座に強制的に現役に徵集することゝなつたゝめ民衆は如何にして兵役をも免れるべきかに苦慮し身分證明書檢査に當つて動搖深刻なるものがあるといはれる

國民兵團とは正規軍および遊擊隊とは別個に行政軍隊として組織され、主に治安維持に任じつゝ訓練を施し作戰に當つては他の正規軍あるひは遊擊隊と共同して行動する豫備軍であり編成はその土地の縣長が團長を兼ね各團に保安司令部を省政府首席の指揮下に置かれるものである

一躍三倍に

本年度米の軍事支出

【ブエノスアイレス十七日同盟】ワシントン來電＝ルーズベルト大統領は十六日議會に長文の報告書を送り、明年六月十日に終る一九四三年會計年度の軍事支出は七百四十億ドルに達する見込みであると報告した、さらにルーズベルトは臨時支出と公債利子はそれぞれ四十一億九千四百萬ドル、十八億五千萬ドルとなる豫定と述べ、本會計年度の米國政府支出增加額が八百億ドルを越えると豫想される點を明らかにした、ルーズベルトが右の報告書を提出したのは、議會に對し追加支出の豫告を與へたものと解されてゐる、一九四二年會計年度の米國政府軍事支出は約二百六十億ドルであつたが、現會計年度は實に約三倍となるわけで戰費の急增を物語つてゐる

戰鬪開始は事實無根

ダカール事件 ビシー否定

【リスボン十七日同盟】ビシー來電によればビシー政府筋ではダカールにおいて戰鬪的活動が開始されたと同政府が發表したとの噂が流布されてゐるのに對し十七日事實無根としてこれを否定した 消息筋では右はデリエール大佐が十月十一日西アフリカで戰死した旨の十六日發表の意味を取違へたものと見てゐる

米下院徵兵法改正可決

【ブエノスアイレス十七日同盟】ワシントン來電によれば米下院はさきに下院陸軍委員會を通過した徵兵年齡引下げに關する徵兵法改正案を十七日可決直ちに上院に回附した

米英對南米協定成立か

【ブエノスアイレス十六日同盟】當地輸入業者筋より確聞するに米英兩國政府は南米市場に於ける一切の不必要な競爭を避けるための協定に達したといはれる

米、リベリヤに進駐

【ストツクホルム十七日同盟】モンロビヤ來電によれば米軍は西アフリカのリベリヤ共和國に進駐した

【リスボン十七日同盟】ニューヨーク情報によれば西阿リベリヤに上陸した米軍は相當大部隊ですでに國內の重要地點を占據してゐるといはれる

（地圖）レイス　大西洋　アフリカ　アフリカ西岸　リベリヤ

リベリヤ樞軸に宣戰か

【ストツクホルム十七日同盟】ロイター通信モンロビヤ來電＝ルーズベルト大統領の特使は過般來エドウイン・バークレイリベリヤ大統領と協議中であつたが右會談は今次の米軍リベリヤ進駐と關係あるものとみられる、最近同地海岸より八百乃至九百キロ沖合に樞軸潛水艦の活躍が活潑化した樞軸潛水艦の活躍を封殺する目的をもつて建設を急いでゐた英空軍基地もすでに完成をみてゐる矢先、今次の米軍進駐となつたもので、すでにかゝる情勢の急迫によつてリベリヤ居住の獨一般市民は象牙海岸經由歸國を完了してをり、獨リベリヤ總領事館に領事館員一同も近く歸國するものとみられる、リベリヤは近く聯合國側に參加し樞軸側に對して宣戰を行ふのではないかとみられる

ス市陷落も同然

獨“赤色十月工場”の殘敵剿滅中

【ベルリン十七日同盟】獨軍司令部十七日の發表によれば獨軍はソ聯最大の戰車工場たるジエルジンスキー・トラクター工場を占領さらにクローズヌイ・バリカード大砲工場に突入するとゝもに、ボルガ河岸に殺到中であり、スターリングラード全市はいまや事實上獨軍の手中に歸するに至つた、かくて赤軍の據點は クラースナヤ・オクチャーブリ製鐵工場の一ケ所となり、同工場では僅かに少數の赤軍步兵が同工場勞働者よりなる義勇隊と協力して防禦陣地を構築してゐるのみである

【ベルリン特電】（十七日發）スターリングラード最後の防備據點としてソ聯軍が頑強に死守してゐた北部工場地帶の三大工場も十五日遂にドイツ軍の制壓するところとなり、今や“赤色十月工場”に殘存するソ聯軍の剿滅を殘すのみとなり、スターリングラード市は事實上ドイツ軍の手中に歸するに至つたが、十七日の赤軍機關紙赤い星もスターリングラード市の徹底的重大事態を自認しドイツ軍增援大部隊が續々市內に流れ込み全力を擧げて最後の攻擊を敢行するに至つたので、スターリングラードの情勢は極めて重大となつたと述べてをり又ユーピーモスコー電も スターリングラード市防衛のソ聯軍は地下塹壕から躍り出て體當りの死鬪を續けてゐるが、ドイツ急降下爆擊隊の猛爆擊と重砲隊の猛砲擊に續く步兵部隊の突擊により一步一步後退を餘儀なくされ北部地區でドイツ軍は遂にボルガ河に到達スターリングラード市の狀態は遂に絕望化するに至つた と報じてゐる

【リスボン十七日同盟】諸情報を綜合するに十四日再開された獨軍のスターリングラード總攻擊は熾烈を極め、日を逐つて度を增す[illegible]を冒して赤軍殘存據點たる市北西部の軍需工場地帶を中心に空前の激鬪を繰展げてゐる、同方面の赤軍は前後廿五回にわたる獨軍の猛攻を支へ切れず過去四十八時間內に四度新陣地に撤退、目下獨軍のボルガ河岸到達企圖を必死となつて阻止してゐるが、もし獨軍が同河岸に到達した場合同方面の赤軍は袋の鼠となつて殲滅の危險に曝されるため、チモシエンコ軍はボルガ、ドン兩河中間地點から獨軍に對し必死の反擊を加へてゐるにもかかはらずその効果はほとんど期待し難い模樣である、ソ聯側もスターリングラードの重大危機を率直に認め十七日の赤い星紙は『獨軍はスターリングラード北西部の猛烈な工場地帶に彪大な兵力を集中戰車隊を先頭に猛攻を加へ獨空軍また息ふ間もなく赤軍陣地に猛爆を加へてゐる』と報じ、また同日のイズベスチヤ紙も同市の戰鬪狀況を次の如く傳へてゐる 赤軍は獨軍に利用さるべき一切の物を徹底的に破壞したのち工場地帶を秩序整然と撤退新陣地に據つて獨軍のボルガ河岸に到達企圖を必死に喰ひ止めてゐる獨空軍はスターリングラードの空を蔽つて工場地帶に爆彈の雨を降らせ戰鬪は刻々に悽慘の氣を呈しつゝある

米英色を失ふ

ス市陷落遂に不可避

【ベルリン十七日同盟】スターリングラード攻擊をはじめてから約二ケ月、獨軍は相當の苦戰を重ねてゐたが、同市の陷落はいよいよ時間の問題となり、今まで愼重を期してゐた獨軍當局も珍らしく『近くその陷落が豫想される』と言明し樂觀的な判斷を下してゐる またモスコーの英米通信も情勢の急迫を認めこゝ一兩日の戰局により結着がつくだらうと陷落の切迫を豫想してゐる、何れにしても最近のうちに完全占領の發表が期待出來る形勢になつて來たことには間違ひない

獨軍

は十五日市街北端のジエルジンスキー・トラクター工場を占領したのちさらに十六日その南方三キロのクライスヌイ・バリカード大砲製造工場の一部に突入し工場を楯に死守する赤軍との間に激戰展開中である、同工場はボルガ河岸から一キロ位のところに建てられた幅一キロ半、長さ三キロ位の細長工場であるが、英側の報道によると兩軍はところにより四、五メートルの間隔で相對峙し文字通り白兵戰を演じてゐる 赤軍は 同工場南方三キロの赤色十月工場を維持してをり、河岸に沿つてまだ五、六キロの陣地を保つてゐるので夜陰に乘じて新鋭部隊や彈藥の 補給をうけ てゐるが大量の補給は困難になり僅かに對岸からの重砲の掩護射擊だけにたよつて來てゐる

然し

モスコー側の通信によると獨軍は數百機の飛行機でこの方面の制空權を確保しほとんど赤軍空軍部隊に活動の餘地を與へず、ソ聯砲兵陣地や工場を猛爆してをりこれが情勢を決死的にしてゐる模樣である、獨軍は北方から南へ向けて赤軍を壓迫する一方ジエルジンスキートラクター工場北方にとり殘された殘兵に對して殲滅戰をはじめてゐる、他方モズドク、ツアプセ方面の戰局も着々進捗し兩地の占領も次第に切迫し、全戰局は冬營期を前にして最後の好調ぶりを示してゐる、ソ聯側が落下傘部隊をもつて獨軍後方の輸送路の破壞に蠢動してゐることを頻に宣傳し出したのは赤軍の戰局が益々惡化しゲリラ戰を宣傳するほかはない狀態になつてゐることを示すものだらう

油田地帶に放火

イラクの反英再燃

【イスタンブール十七日同盟】バクダツド情報によれば最近英軍に對するイラク民衆の反抗が再燃英軍將兵に對する襲擊事件が六回にわたつて續發し、モスール油田地帶に放火、大火災を生ぜしめるなど英軍を痛く狼狽せしめてゐるこれがため英軍當局は躍起となつて首謀者の逮捕を策してゐるが首謀者はイラク民衆の間に匿れて地下運動を續けてゐる結果發見は不可能である

對ソ戰の目的を達成

伊評論家論文

【ローマ十六日同盟】イタリー軍事評論家トリッツイー二空軍少佐は十六日のポポロ・ローマ紙に『戰略戰術の歷史的轉換』と題する論說を發表、樞軸軍は今年度における對ソ戰の目的をほゞ達成したと述べてゐる、少佐はまづ獨軍の作戰目標を論じ

獨ソ兩國が開戰した當初赤軍は最高度の裝備を保有する彪大な兵力を擁してゐたため赤軍野戰軍主力を徹底的に殲滅することを作戰目標とした ピエルヌトツク、スモレンスク、モスコー正面における獨軍の中央突破包圍殲滅戰は量的にこの事實を物語つてゐる、しかるに赤軍の戰力が相當弱化された今日獨軍の作戰は赤軍戰略目標の制壓へ換言すれば資源作戰に轉換し二千五百萬トンに上るコーカサスの石油資源から赤軍を遮斷することを目標とするに至つたと述べたのち以上の目的を達成する手段をあげて曰く

敵交通線の遮斷＝獨軍はウクライナ全土ならびにクリミヤ半島を完全に制壓して黑海の制海權を手中に收めるとともに、北コーカサスを完全に占領することによりカスピ海の交通線を麻痺せしめ今またスターリングラードを攻擊してボルガ河左岸に到達した、かくてコーカサスの油田地帶はほとんど獨軍に遮斷されるに至り赤軍戰力に及ぼす影響は蓋し深刻といはねばならない、石油地帶占領＝獨軍は過般マイコープ油田を制壓して航空用ガソリン產地をまづ赤軍の手から奪取、目下テリヨク地區ならびに西コーカサス山脈の突破作戰が順調に進捗してゐるのでグローズヌイ、バクーの兩油田地帶は重大な脅威に曝されコーカサス全石油地帶の完全占領も遠い將來のことではない

チアミアンを占領

獨軍、ツアプセへ廿八キロ

【ベルリン特電】（十七日發）ドイツ軍司令部十七日發表＝コーカサス方面作戰中のドイツ軍先遣部隊はマイコープ、ツアプセ街道の要衝チアミアンを占領、遂にツアプセより廿八キロの地點に到着した

獨空軍新型爆彈使用

【ストツクホルム十七日同盟】ロンドン來電によれば英航空省は獨空軍が新型爆彈を使用してゐる旨十六日次の如く發表した

獨爆擊機數機は十五日英本土沿岸の都市ならびに村落爆擊の際、新型爆彈を投下しその性能を試驗した模樣である

正金ジャワに十出張所開設

【バタビヤ十四日同盟】ジャワにおける金融機關は南方開發金庫、正金、台銀、華南の日本側各金融機關ならびに最近における陸民銀行の再開により着々整備し來つたが正金銀行では現在のバタビヤ、スラバヤ、スマランの各支店およびバンドン出張所の外にセラン、チレボン、チラチャンプ、マゲラン、ジョクジャ、ソロー、マヂオン、ケデリー、マラン、ジョンベルの島內主要都市十ケ所に出張所を開設することに決定、廿日より一齊に業務を開始することになつた

マニラ中央官吏訓練所を設置

【マニラ十八日同盟】比島軍政監部では比島人官吏再訓練のためマニラ中央官吏訓練所を設置することになり、十九日から開所する、第一期入所生は各部長官から選ばれた行政部官吏、マニラ市および地方官吏約二百名で約一ケ月間の訓練を行ひ、引つゞき第二期、第三期の訓練を行ふはずである

堀切駐伊大使パリへ

【ビシー十七日同盟】堀切駐伊大使は十六日午後ビシー發パリに向つた、パリに二、三日滯在のうへローマに歸る豫定である

故酒井中將葬儀

賀陽宮邦壽王殿下特に御參列

きのふ青山齋場で執行

【東京電話】中支湖南作戰に第一線兵團長として活躍中關鈴入城を前に壯烈な戰死を遂げた故酒井直次陸軍中將の葬儀は教育總監部本部長淸水規矩中將葬儀委員長となり、十八日午前九時卅分から東京青山齋場において佛式により嚴肅に執行され、かつて故中將の御指導をうけさせられた賀陽宮邦壽王殿下には特に葬儀に御參列御燒香あそばされた、これよりさき中將の遺骸は喪主陸士本科在學中の長男次武君（二〇）に抱かれ、貞子未亡人（四〇）長女彝子さん（一七）二女義子さん（一三）に護られ、自動車で午前八時東京市世田ケ谷區經堂町一八一の自宅を出て、沿道市民の敬弔をうけつゝ同八時半齋場に到着、鶴飼芳男大佐の指揮する東部第二部隊の儀仗兵一ケ大隊整列してこれを迎へた、遺骨は祭壇に安置され、その兩側には畏くも賀陽宮家をはじめ陸軍三長官以下各關係者より贈られた生花が故中將生前の戰功を物語るやうに簡素な美しさを競つてゐた、定刻九時半遺族、東條首相兼陸相、杉山參謀總長、山田教育總監以下の各將星など着席、御待ち申上げるうちにこの日特に御參列あそばされた賀陽宮邦壽王殿下には靜かに靈前に進ませられ、御鄭重に御燒香あそばされた、やがて堀內西法寺住職濱瀨眞海導士の讀經が行はれ、續いて東條兼陸相、杉山參謀總長、山田教育總監、登部隊長、陸士陸大同期生代表及川源七中將などそれぞれ立つて弔辭を朗讀、南方派遣軍最高指揮官ならびに、各軍司令官などより寄せられた弔電披露、喪主次武君をはじめ 參列遺族の哀しみ新なるうちに微妙導士の錆びた讀經が再び齋場に流れる この時參列儀仗兵の射ち出す三發の弔銃は哀しみにうづもれた齋場の閑寂を破り續いて起る『吹きなす笛』の喇叭吹鳴のうちに喪主次武君をはじめ遺族は次々に立つて祭壇に進み、今は亡き父の、夫の英姿を仰ぎ見、忠魂の冥福を祈つて物靜かに燒香を行つた、かくて十時五十分參列者一同の燒香を終り引續き十一時から一般の告別式に移り正午盛儀を終了した

（上）故酒井中將葬儀 東條首相の弔辭 （下）戰死前、戰線にありし日の酒井中將

神の如き武人

部下が語る故中將

【東京電話】故酒井直次中將の遺骨を捧持して去る十二日入京した吉村芳次中佐ならびに塚本忠基中尉は葬儀參列ののち故中將の偉勳を偲んで交々左の如く語つた

故兵團長はまことに軍人精神の權化ともいふべき人で、軍人勅諭の精神を實踐躬行された、また戰場に屍をさらすことを一生の念願とされてゐたが、勇躍戰線に赴かれる少し以前小さな家から間數の多い家へ移された時家人を顧みて『これなら葬儀を出せる』と笑はれたこともある 作戰に當つては、日本の兵は皇軍であり、神兵であるといふことを示さなければならぬと部下を諭し、自らも率先範となるべく心掛けてをられた、敬禮の嚴切なことは昔から有名で、うけた敬禮には必ず叮嚀に返された嚴格な一方、情誼の人で部下を愛すること厚く、言葉遣ひは下働きの者にまで優しく叮嚀であつた、また質素を旨とし物質慾の念の厚かつたことも故部隊長を語るに落してはならない、しかし謹嚴そのものゝ如き一面性質は明朗で諧謔に富み座談に長じてをられた戰場に重傷を負つて斃れながら遠く地雷の炸裂する響音を聽いて部下の安否を氣遣ひ『部下の血がもらへるか』と斷乎輸血を拒否された、その沈着、勇氣を想ひ、その人格を顧みる時故中將はまことに神の如き武人であつた

牛島朝野の御聲援を仰ぐ

李外交部大臣語る

【釜山電話】滿洲國駐日大使として日滿親善に貢獻すること掛からずも今回外交部大臣に親任された李紹庚氏は秋蘭夫人以下家族、隨員を同伴、十八日朝 釜山上陸 急行“のぞみ”で一路歸國したが機中で語る

本駐節一年十ケ月の間親邦朝野の絕大なる御支援により大過なく大任を果して離任することが出來るのは私として無上の光榮であり且衷心感激に堪へない、滿洲國の外交理念は一德一心、日滿一體の關係を堅持し以て王道外交の實を擧ぐるにある、私はこの理念を以て日し外交擔任の大任に處し大東亞共榮圈を確立し延いては世界人類平和のため微力を致す覺悟である、今後援護の朝鮮には朝野の御聲援を仰ぐ次第であるが特に小磯總督板垣軍司令官とは舊知の間柄なので非常に心強く思つてゐる、今回通過に際し兩閣下及び朝鮮の皆樣に敬意を表する次第である なほ大東亞戰爭完遂のためには日滿華一體となり大東亞全民族の結束を固めることが緊要で、現在行はれつつある日滿華三國の國民運動を更に積極的に展開し相互の步調を合せ總力を結集することに王道外交の根本義も存すると信ずる次第である

寄留屆銃後のつとめ

新生ボルネオの姿
『君が代』歌ふ原住民
皇軍の努力酬いらる

【ポンチヤナクにて○○特派員十八日發】ボルネオ——それはオランダ治下三百年の搾取の下に三百年を送つた國であつた、謎と獵奇と神秘の言葉に包まれてゐた大自然の寶庫ボルネオは大東亞戰爭以來皇軍の日夜の努力によつて今や平和な姿をわれ〱の前に現した、それは決して誰でも獵奇でも神秘の國でもない、山深いボルネオの奥地——そこにわれ〱は今莊嚴な『君が代』と『愛國行進曲』を歌ふ原住民の純情な聲を聽く、以下は蘭領ボルネオ警備隊の敗殘兵掃蕩隊に從軍した記者が感激をもつて綴る奥地六百五十キロ走破の『新生ボルネオ』の姿である、

掃蕩隊は ○月○日○○發の舟艇に分乘、カプアス河を遡行八百キロの壯途に出發した、記者は道路掃蕩隊の指揮かた〴〵各地を視察する○○警備隊長以下の自動車に便乘、○月○日午前七時本部を出發シンタン街道を東上した、オランダが營々道路につくつたこのシンタン街道は砂を敷き固めた坦々たる大道路で、ポンチヤナクより五百五十キロ、シンタンまで蜿蜒と走つてゐる、スンガイナボを過ぎアンジヨンガンに近づくと異様な香がする、これは果物の王といはれるドリアンの香だ、こゝはボルネオ一のドリアンの産地である、この町を過ぎウンバンの町についた、ポンチヤナクより百五十キロ、人口四千ほどの町である、三台の發動機が力強く復興の譜を奏でてゐる、町はオランダの轍跡となつてほとんど燒き拂はれた

支那人と 印度人の商人が椰子の葉葺きのバラックで數へる程の商品を並べて寂しく賣つてゐる、兵隊さんは車の渡河作業に懸命だ、渡河して十五分も走ると奇怪な形態の大木が到るところで道路に蔽ひかぶさつてゐる、幾度か通り拔けると高原に出た、眼前には峨々たる山々が聳え立ち、カプアスの流れが長蛇の如く延びて餘の彼方に消えて大ボルネオの嚴さを誇示してゐる、一時間も走つた頃、薪を背負ひ長刀を腰にさした眞つ黑い人間が三人道傍にきよとんと立つてゐるのを見つけた、ダイヤ族かと聞くと『うん』とうなづいた、この邊のダイヤ族は比較的開けた生活をしてゐて一見インドネシヤ人と變らず

たゞ目が 異様に鋭い、十分も走つたかと思ふ頃彼らの家が目についた、地上三間位の高さに長さ五十メートルもある檻を組んだ椰子の葉葺の細長い家だ、木彫りの梯子が彼方此方に立てかけてある、窓口から覗いて見ると六疊ばかりの部屋になつてゐてアンペラが敷いてある、外に出てカメラを出して寫してゐると明るい緑のやうな所から幾つも顔が出た、兵隊さんが乾パンを出して『來い來い』と呼ぶと老人と子供ばかりぞろ〱出て來た、若い者は皆山へ働きに出て一人もゐないといふ、この細長い家に三十の部屋があつて三十家族が住んでゐるさうだ、ダイヤ部落で道草をしたわれわれがソソの部落に着いたのは午後四時頃であつた

原住民は 赤いレモン水や草の葉で包んだ菓子を出して盛んに勸め『君が代』『愛國行進曲』を立派に唱つた、老も若きも男も女もたゞ一生懸命唱つてゐる、兵隊も記者も唱つた、豚や鷄を持つて行つてくれといふのを斷つて出發した、道路は相變らずの山路だ、サラワクに通ずる岐れ路ボドの部隊はオランダ軍事基地として建設しようとした所だがまだ手をつけてゐない、間もなく木橋が弓なりに歪んでゐるところに來た、馴れた兵隊さんの手で十分とかからないうちに立派な橋と變る、傍の古びた道路標にはサンガウまで廿五キロと書いてある、サンガウには先着の掃蕩隊がわれ〱を待つてゐる筈だ、樂隊まで繰出しての

大歡迎裡 にサンガウに着いたのは午後六時半だつた、三百キロを十一時間で突破したわけだ、サンガウはポンチヤナク、シンタン中間にある人口五千人ほどの町である、ボルネオ一の蚊の少い町ださうだ、一夜を明かして翌朝カプアス河上流二百五十キロにあるシンタン目指して出發した、カプアス河は蜿蜒實に千七百キロ、ボルネオ最大の大河である、河に沿つて點々と町や部落が開けてゐる、兩岸はゴム林で巨木が天を掩ひ、色に黄色づいたジヤボンの木には尾長猿が囀々として遊び戯れてゐる、ゴム林の中にぽつん〱と日の丸を揭げた住家がある、三時頃スカダウの町に着いた、戰前オランダ兵が卅名ほど常駐してゐたさうだ、ちよつとした兵舎もある、逃走に際して町の燒き拂ひを命じたが住民が手に〱武器を持つて反抗したといふなか〱勇敢な町だ

町を歩いてゐる**兵隊さん** はみんな一隊の眞黑な子供を連れてゐる、いかんいかんといつてもそろ〱後をついてくるので兵隊さんは照れくさうに顏を見合せて苦笑してゐる、炊事をはじめると薪や水、鷄卵などを澤山運んできてお祭り騷ぎで手傳つてくれた、夕刻スカダウを出發、螢が無數に飛び交ふ月光の下を續けて未明目指すシンタンに着いた、オランダの副理事官(府縣知事に當る)が駐在してゐた人口八千ほどの町であるが、燒き拂はれて見る影もない、シンタンはなか〱景色よいところだ、椰子の葉蔭に見るカプアス河の月

ボルネオのダウオ港

大將鬚の 兵隊さんが『よい月だ、よい月だなあ』としきりに感心してゐた、この町に俣野孝道(寫眞業、佐賀縣出身)吉藤巳之介(雜貨商、石川縣出身)市原司(農園經營、東京府)の三氏が住んでゐたが戰爭直後拉致されたきり行方不明になつてゐる、記者は町はずれにある俣野氏の住居を見舞つた、屋内は寫眞の乾板フイルムが投げ散らかされて足の踏場もない、トランクはずたずたに引裂かれ机、テーブル、花瓶がひつくりかへつてゐる、花瓶の傍にさくら音頭のレコードが一枚二つにわれて捨てゝある、兵隊さんは元氣なものだ、暇をみては素裸で河に飛び込み、じやぶ〱やつてゐる、珍しさうに集つてきた子供たちを裸にして泳ぎの型を教へ大はしやぎだつた

タルシボ に向けて出發、記者は掃蕩隊と分れてナンガ・ピーを視察する隊長一行に加つた、遡ぼるにつれて河水は眼に見えて少くなり岩石が露出して、乘艇は巧に間を縫つて進んでゐる、遡ぼること百キロ、ナンガ・ピーの町に着いた、皇軍としてはじめて第一歩を印したのである、南國の陽光に輝く燦然たる我軍艦旗を仰いだ住民が歡喜の聲をあげバンザイ、バンザイと連呼してゐる、手を合せてゐる老人もゐる、飽くなき暴政に虐げられた彼等にとつて旭日の軍艦旗はどんなに嬉しく映じたことであらう、この町は木材とゴムによつて開けたサンガウほどの町で良質の木材が流れを下つて各地に運ばれるのである、增水期には筏が蜿蜒と續いて大壯觀を呈するといふことだ

昔日の蕃風なし
鳥獸を擊ち集團生活

この町にはパレンバン一王様がゐる、見たところ卅歳ばかりの青年だ、金絲のついた帽子を被り、多くの使用人を顎で使つてゐる仲々大した勢力だ、細君を『女王々々』と紹介したのには流石の兵隊さんも一本やられた形、隊長は住民を集めて協力を諄々と强く溫く教へ諭した、かくて一行は住民惜別の裡に○月○日歸路につき激流を利して一氣にサンガウまで下つたが、こゝで思ひがけない歡迎をうけた、異様な風態のダイヤ族が五、六十人悠然とずらりと並んでゐる、掃蕩隊が來ると聞いた彼らは三日三晩飲まず食はずで五十キロの山路を歩いて來たのだ、竹筒の椰子の酒を嬉しさうにすゝめては笛を吹き太鼓を叩き、一團となつて身振り手振り面白く踊つて兵隊さんに見せる、記者は酋長らしいものに彼等の生活を聞いて見た、首狩などいまはそんな蕃風は全然なく、獵地を開拓して糯米などを作り吹矢、投槍、火打石、銃などで鳥獸を擊つて集團生活を營んでゐるといふ

彼らは勇敢で正直で純情な愛すべき人種である、オランダ人を憎むこと甚だしい、山中を放浪潜伏中のオランダ兵四人を射ち殺したのは數日前のことである、隊長一行は彼らの太鼓に送られ○月○日○○に歸着七百五十キロの掃蕩を終つた、記者の見たボルネオの奥地それは片鱗に過ぎないものではあつたが謎でもなければ獵奇に滿ちた神秘の國でもない、常に百花咲き亂れ果實の實る花山野に充ちる平和郷だ、われわれは誤つた過去の認識を一掃し大自然の寶庫ボルネオを愛護するとゝもに日夜治安に不斷の努力を續ける皇軍將兵に無限の感謝を捧げねばならぬ

大戰週間戰況
十日から十七日迄

世界戰局は反樞軸總合陣營が隨所に敗退され頽勢一路を辿りまつゝわが海鷲が長驅太平洋米沿岸において米油槽船、驅逐艦その他多數の船舶を擊沈戰果を收めるとともに、一方支那戰線においては華北第五次治安强化工作により殘存敵匪を剿滅、歐洲戰線は獨軍の壓倒的優位のうちに赤軍殲滅、英本土大規模の空襲など數多の戰果をあげた週間(十日—十七日)であつた

大東亞戰

開戰十ケ月にして南方諸地域の軍政は要員の充實、機構の整備と相俟つて愈よ本格的なる建設段階に入り中央、現地の緊密性を更に强化するため十二日から陸軍南方軍政會議を東京に開催した、一方太平洋に活躍するわが海鷲は長驅アメリカ沿岸を急襲、わが潛水艦によつて米油槽船、驅逐艦ほか數隻が擊沈された旨十一日、十二日相次いで米側が發表しわが方は確實なる戰果をあげ米を震撼させた

支那戰線

久しく鳴りを休めてゐたわが陸鷲は八日突如華北第五次治安强化運動に呼應し國共敵軍殲滅を期して數十機からなる大編隊により敵第一戰區副司令部所在地洛陽を急襲し軍事施設、飛行場、格納庫、滑走路など完膚なきまでに爆碎、多大の戰果をあげた、一方山東省内においては越冬準備のためと地盤奪取から膠濟線北側省邸一帶に蟠る將系軍の同志討ちを行ひ加へ國共の相剋は益々熾烈化を加へつゝあるが、わが第五次治安强化の猛攻に遭つて將系山東保安第二旅の奮勵附匪團一千名は捕捉殲滅の運命に曝され、南方の將系偽軍匪は一部を佔分の地盤に逃走するや戰爭を捲き起し、わが方は一網打盡の快進擊を續け多大の戰果を收めた、更に山西省中條山脈の天嶮に據つて蠢動を續けつゝあつた高桂滋部下の十七軍麾下に置く一指揮の晉南遊擊隊匪團一千に對する包圍殲滅戰は十一日火蓋を切り、十三日早くも敵遺棄死體六六、捕虜五三、鹵獲品多數の戰果を擧げた、十二日には山東中部臨朐地區において偽山東省第三區專員張天佐及び山東保安第十五旅長張品三の合流匪約二千に對し一齊に行動を開始し遺棄死體五六〇、捕虜二〇五をあげた、また河南省北部に蠢動する新四軍約一、五〇〇に對する剿滅の戰果大いにあがり瞬時にしてこれを沈默させた

歐洲戰線

スターリングラード攻略の獨ソ戰は最後の死命を獨の手によつて扼されてゐるとはいへ赤軍の頑强なる抵抗によつて依然凄慘極まりない激戰が展開され、獨軍は間斷なく空軍の大編隊をもつて猛爆を敢行、過去五旬の激戰のため市の五分の三は廢墟と化し炎々と燃え續ける市街はまさに地獄圖繪を展げてゐる、獨軍は旺んに赤軍防衛軍に對して降伏勸告のビラを撒布、一方東部戰線コーカサス戰線は惡天候のため全線に亙つて活潑なる動きは少かつた、十一日獨空軍は大擧英本土を急襲東方沿岸地區において猛爆を加へ軍事施設を粉碎し更に五編隊はマルタ島を反復猛攻した、一方戰局に動きを見なかつた北阿戰線も膠着狀態を破つて獨、英兩軍は機械化部隊を中軸に活潑なる移動を展開し始めた、また米遠征軍はペルシヤ灣内英領バーレイン島に進駐した、皮肉なのは伊輸送船が英俘虜を收容して地中海を航行中偶ま英潛水艦はこれを盲擊して沈沒させ國民の怨嗟をかつた、十三日に至つて突如コーカサスに獨軍は空軍を以て猛襲、戰局は活潑なる行動の展開を見せ獨軍の冬季作戰への準備は着々進捗しつゝある

英の不安再び增大

【ストツクホルム十七日同盟】赤軍がスターリングラードにおいて頑强なる抵抗を續け、その他東部戰線一帶にわたり『冬將軍』の到來とゝもに戰局が漸く膠着狀態に入る樣相を呈するに至つたゝめ、聯合國特に英國内の輿論は極度に緊張しき聯合國群が攻勢に轉ずる時期が漸く到來したとの意向が有力化するに至つたが、獨軍が[illegible]めてスターリングラード戰線においても猛攻擊を開始し廣い正面にわたつてボルガ河畔に達する勢を示すに至つたので、英國内の空氣は再び不安氣構を呈してゐる、英國の軍事消息筋は

一、現在の形勢では獨軍が少くとも東部戰線を安定させ、兵力を他の戰線に動くことが出來ること

一、殊にロメル將軍の歸任と相待つて樞軸軍のマルタ島爆擊が再び激化したので、内部戰線に新展開が豫想されること

一、フランス海岸線一帶にわたりドイツ軍の防衛施設が急激に强化し、今後は歐洲大陸に對する爆擊はかなり困難となつたこと

を指摘してゐる、英國新聞界は南阿首相スマツツ將軍のロンドン訪問を重大視しアフリカ戰線今後の動きを豫想してゐるが、週間スペクテーター誌は十六日の紙上で戰局の見透しについて次の如く述べてゐる

獨軍は電擊戰から長期作戰に入つた樣子だが、防禦戰においても獨軍が勝利を制し得ることを看過してはならない、マルタ島に對する爆擊に徴してもドイツ軍が東部戰線からナイル戰線に移駐されてゐると見られるが、氣候の移り變りに應じ兵力を移動するのは獨軍としても賢明の處置といへよう、さらにヒ總統が廣汎な領域を占據し原料資源の自給自足出來るに至つたことも充分考慮に入れねばならない

なほスマツツ將軍の外交は第二戰線の展開と關聯するとの見透しが相當强いが、ロンドン來電によれば第二戰線を豫測するとは英國の新聞界では事實上『ハツト』となつてゐる樣子だ

赤軍首腦部强化
國防人民部次長を任命

【クイビシエフ十六日同盟】ソ聯政府は十五日赤軍政治委員制の廢止に伴ひアー・エム・フシレフスキー中將ならびに赤軍政治局長アー・エス・シチユルバコフを國防人民部次長に任命する旨發表したが、右はさる八月のジユコフ大將の同部第一部長任命と同樣獨軍長期戰に備へる赤軍首腦部强化策として注目されてゐる、とくにシチユルバコフは赤軍政治局長として赤軍の内部改革に敏腕を揮つた經驗があるので、政治委員廢止後の赤軍に對する政治的指導强化の任務を與へられてゐるものと解される、シチユルバコフは共産黨モスコー地區書記長、情報部長の要職を經てさる八月赤軍政治局長に就任、その將來を嘱目されてゐたが、今回の國防人民委員部次長就任により名實ともにソ聯指導部の一人となつた

聯合國側商船喪失

【ベルリン十六日同盟】英國政府では最近通商破壞戰による聯合國側の商船損害を一千二百萬トンとドイツ政府當局が發表したとの報道を流布してゐる樣子だが、ドイツ政府筋では十六日とくに一九四二年九月末日現在に至る聯合各國商船の擊沈トン數を發表し英國政府筋の宣傳を否定した、デーヌスペー通信の發表によれば九月末までのドイツ空軍潛水艦、艦隊および空軍で擊沈したトン數は約二千百卅萬トン、イタリー海軍五月中旬までの戰果は百卅萬トン、その他の水域における擊沈トン數二百萬トンである

半島の薪炭界展望
木炭の需要愈よ旺盛

朝鮮の木炭燃料は總督始政以前は一般家庭が採暖を温突に頼つてゐたため貧弱なもので僅かに鑛物、精錬工業、その他燃料、煙火用などの特殊な用途しかなくなつたが始政後内地人が多數居住し需要が增大するに及んで製炭業が好望視され、また當局でも需給確保のため製炭を奬勵し、道によつては補助金による技術員を製炭指導員に振りあてゝ在來の幼稚な製炭法に改良を加へ、事業の企業化を圖つた

軌道に乘る製炭業

然し當時 の一般民有林は荒廢甚だしく、製炭資材が缺乏してゐたので所期の增産が出來ず、年々多量の木炭を内地から移入する實情にあり、一時は燃料機關の機械を資材とする機炭の生産が流行して、林野の荒廢に拍車をかける結果を招き、更に一方では國有林の盗伐林による製炭者が續出するなど弊害が多かつたが、その後林政機關の整備擴充に伴つて禁止

取締を嚴 重にし、民有林の保護增殖に多大の努力を注いだ結果、製炭業も軌道に乘り大正八、九年頃には年産一千萬貫を突破するに至つた、斯くて製炭業の發達に從ひ、重要生産道では炭質改良を圖つて内地から製炭技師を招聘して改良製炭法の普及、指導に乘出し炭質の向上と生産增が併行して實現し、昭和初年に至つて

鮮内需要 を充足して、その一部を内地に移出する成績を收めた、昭和年代に入つてからの製炭業界は益々好調の一途を辿り、支那事變勃發の十二年前後には年産二千五百萬貫の生産力を確保し毎年五、六十萬貫づゝ輸移出超過を見るといふ盛況だつたが、事變以來の各種産業の生産力擴充に伴つて、鑛工業方面の需要增加と石炭、練炭、ガソリン等の他の

燃料が消 費規正の影響を反映して木炭の需要は急激に增大、十二年の消費量二千三百萬貫から十三年は四割增の三千七百萬貫となり、年毎に需要量は增加する一方である、試みに最近五ケ年間の需給量と本年度の用途別内譯を摘用すると左の如くになる

五ケ年需給量 (單位千貫)

區別	昭和十二年	十三年	十四年	十五年	十六年
生産	二四、六〇四	二七、〇八六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸入	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
前年在庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—
移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
年末在庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
差引需要	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

十七年度用途別數量 (單位千貫)

▲一般家庭用二三、五〇〇▲官公署、學校、銀行、會社用五、一〇〇▲鑛工業用九、〇〇〇▲交通用九、三九〇▲軍用一、〇六〇▲漁業用八六〇▲其他六〇八▲計四九、五一八

各道別 需要と過不足

本年度の全鮮における木炭需要量は四千九百五十一萬八千貫であるが、各道別の需要量と道内産を差引いて他道へ出荷し得る量及び他道より供給を受けなければならぬ不足量は次の如くで京畿、慶南、平南、咸南の四道は他道から仰ぐことになつてゐる(單位千貫△印は不足量)

道	需要量	過不足量
京畿	一〇、四四九	△六、三三九
忠北	一、〇三〇	一〇五
忠南	一、六六八	—
全北	一、六七九	八三
全南	二、四九三	七二
慶北	三、四七一	—
慶南	三、八五七	△四三一
黄海	三、〇五七	一、二七三
平南	三、二四八	△四八
平北	三、一一〇	一、六五二
江原	四、八三六	三、七九八
咸南	五、二一三	△二〇六
咸北	五、三五七	五三〇
合計	四九、五一八	六八九

增産奬勵の施設
供出圓滑へ萬全策

昭和十二年の木炭生産量二千四百六十八萬四千貫に比し、十六年の生産量は五千百七十六萬六千貫といふ倍以上の增産を行つてゐるにも拘らず依然部分的には木炭不足の聲が起つたのは前記の如き、著るしい需要源が限りない上昇を續けるのに起因してゐるが、十六年から十七年度にかけての農林當局の需給計畫確立に至るまでには並々ならぬ苦心が拂はれてゐる

木炭は生活必需物資であり**低物價政**策の具現のため公定價格は他の物品より早期に設定する必要に迫られ、十三年十月第一次木炭關係物價委員會で暫定的公定價格を定め各生産地からの出荷状況を検討して價格引下げを行ふ豫定であつたが實情は豫期に反して出荷量の漸減を見、そのために引下げを見合はせその儘の價格を踏襲することになつた、然るに地方によつては採算不引合を理由に製炭を中止する者が續出したので各種の

增産奬勵 施設を實行すると共に二回に亙つて小賣價格の引上げを行ひ、更にその間生産、配給にも最高價格を指定するなどの施策を以て供出圓滑を計つたが生産者の增産は製炭業者の出し惜りを感止するに至らなかつたので本年八月一日附で從來木炭、薪が別個の統制規則で配給を規定してあつたのを改めて、朝鮮薪炭配給統制規則の一本立の統制法令として公布した、その一方では

製炭業者 の經營實態を細密に調査して八月二十日を期して公定價の引上げを指定して一般需要に不便なきやう恒久措置を講じこれと同時に銘柄間の價格々差に檢討を加へ品質低下の防止に萬全を期した、各道々廳所在地の白炭一俵の新公定價は次の如くであるが一俵の量は二十キロ入りで品質は最上丸とし價格々差を丸に對し割は十錢、雜二十錢、込三十錢とそれ〲引下げることゝし黒炭は白炭より各銘柄とも五錢安とした

	生産	卸賣	小賣
京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
光州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新義州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
春川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸興	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清津	[illegible]	[illegible]	[illegible]

江原道の山元に於ける製炭狀況

半島製炭能力
並に資材蓄積狀況

幾何級數的に增大する木炭需要に對して鮮内の資材蓄積と製炭能力はどの程度保有してゐるだらうか、昭和十三年末統計によると總蓄積の總蓄積は國有林一億六千六十萬尺締、民有林七千七百五十五萬尺締に達してゐる、このうち直ちに利用出來るものは國有林三割、民有林六割内外と見込まれ、その材積九千四百七十一萬尺締、これを十五年輪伐材として利用するものと假定すれば

年伐材積六百二十八萬尺締となり、一尺締からの製炭量八貫と見積れば毎年保續的に生産し得る製炭量は五千二十四百萬貫、本年の四千九百五十萬貫にはなほ餘裕があるわけだが利用率とか輪伐期等の假定は人によつて異るし、林道開設、奥地未利用林の開發、炭材林の施業改善を行へばまだ〱蓄積增加が可能で相當量增産も出來ると思はれる、尤も他の産業部門の增産を促進するために炭材林が用材林に轉化し、薪材として使用される材積も少くないので、伐材跡地の補植又は天然雜樹の保育に努めなければ現生産量を永久に確保することも困難となる憂ひは充分あり、決して樂觀を許さない、また資材蓄積の分布狀況から見ても地理的に搬出不能な奥地林國有林、道有林、特殊保安林をうけてゐた森林が多數を占め搬出に便利な民有林は殆んど伐材され盡して蓄積量は甚だ心細い狀態にある

殊に南鮮地方などは林相が非常で將來は針葉樹を資とする松炭增産に依らなければ自給自足も困難だらうとされてゐる、比較的資材の豐富な江原、平北、咸南各道も奥地民有林、國有林が大部分なので林道開發その他の適宜な措置を講じなければ今後の需要增大に應じ切れぬ實情にある

檢査制度
こゝ規格

木炭に對する[illegible]と規格は極めて新しく昭和五、六年頃主要生産地の民間團體が自ら規格を定めて任意の檢査をしたのに始まるが、これは内地移出木炭を主目的に行はれてゐたもので、鮮産炭の内地における聲價保持のため昭和九年七月朝鮮木炭規格を制定して木炭檢査は凡てこれに據らしめることにした、然しこの規格は内地向けを主としてために高級に失し鮮内需要のものには全面的檢査を實施することが出來ず、道外搬出檢査、移出檢査の程度に止まつてゐたが、漸次鮮外への移出量が減じ、鮮内需要に鑑みたのでこれに順應すべく十四年九月規格を改訂して朝鮮木炭標準規格を制定し全面的生産檢査を實施するに至つた

檢査方法は生産現場檢査、市場集合檢査に分ち檢査區域は郡單位として檢査所は郡廳に置いてゐる、規格の大樣は白炭丸、割、込の資材をカシ、クヌギ、ナベマキ、ナラ、カシハ、栗、込はクリ、ヌルデ、ハンノキを除く濶葉樹、黒炭も同樹資材を指定してゐるが直徑、長徑を區別し白炭の場合は丸が直徑二糎以上六糎以下、割は直徑七糎以下、長徑七糎以下、込二糎角目の金網に止まるものと規定し、黒炭はこれに對して丸、長徑とも一糎づつ太いものとしてゐる、俵裝も材料を藁とし正味二十瓩に對し風袋は一瓩乃至三瓩に限定して、總重量は正味の百分の二を添加することとなつてゐる

(木炭の項終り)

胸せまる感激
半島の遺族 御府を拜觀
臨時大祭第四日

【東京電話】護國の神として靖國の御社深く祀られし我子、我夫に晴れの對面を得た半島の遺族達はきのふの御殿參拜の感激も冷めぬ臨時大祭第四日目、十八日は早曉午前五時早くも起床、午前六時卅分宿舍を出發し、同七時卅分九段坂上東部第二部隊營庭に集合、午前十時から午後一時に亘つて御府拜觀の光榮に浴した遺族一同は重ね〴〵の光榮に心から感動、そして感涙にむせんだ、御國に捧げし愛し我子、我夫は今や神國を護る神として遺族達の目の前に顯現されたのだ、そして畏くも　天皇、皇后兩陛下の御照覽で仰ぎ奉つたのである、こんな有難い事が又とあらうか皇國に比し得ない最高榮譽の顯彰

〝あゝ日本の有難さ、尊さはここにある、日本に生れた有難さはこゝにあるのだ、戰死した我子、我夫の名譽を汚してはならない、傷つけてはならない、今日の光榮と感激を將來長く持ち續けねばならぬ、そしてこの偉大なる大東亞戰爭を戰ひ勝拔くため一生懸命に働き奮闘せねばならない、皇國の發展飛躍のため更に生れ來る子々孫々のために〟

『樞軸の歷史』を編纂
日獨伊親善の契り愈よ固し

【東京電話】新しき世界秩序の建設を目指して戰ふ樞軸諸國の契りいよ〳〵固き折から、日獨伊親善協會では近く『樞軸の歷史』を編纂、外務省はじめ各官廳、各國大公使館、國民諸名士に贈呈、また獨伊本國に向けて發送する

これは昭和十二年十一月廿五日の日獨伊防共協定締結から第二次世界大戰の勃發、日獨伊三國同盟への發展、輝々たる樞軸諸國の勝利の現在に至るまで世界新秩序建設に偉大な足跡を殘した樞軸國の事蹟を寫眞を主に記錄的に綜合したもので、內容は防共協定締結祝賀の光景をはじめ伊國經濟使節團、ヒトラーユーゲントの來朝、松岡外相の訪獨伊、同外相私邸における三國同盟締結打合せ、日本海軍艦の獨基地寄港など輝しい歷史的な數々の場面がすべて網羅されてをり、卷末には樞軸の今日の親善に努力した人々の寫眞も掲載されてゐる

參拜者なんと廿萬
きのふ京城神社例祭

大東亞戰下秋に迎へる百萬府民の氏神樣京城神社の例祭は、武部長以下京城府民を代表する氏子代表一萬名參列のもとに十八日莊々しく執り行はれた、早朝から社殿は美々しく飾られ、午前九時四十分太鼓の音と共に參列員着席、幣帛供進使高京畿道知事參向、これより手水の儀あり神職先導で祓所に到着、高幣帛供進使は隨員と共に御幣物を捧持、修祓の儀あり全員起立最敬禮、式場を鎮める雅樂の音律厳しき中に市宮宮司御扉を開き神饌を献じて祝詞奏上、つゞいて高供進使祝詞を奏し終れば八人の少女による神樂『浦安の舞』の奉納あり高供進使玉串を奉りて拜禮、參列員は貴族院代表李子爵、文官總代江頭京中校長、武官代表井上大佐、道民總代元村道議、府民總代古市京城府尹、氏子總代石原氏それ〴〵玉串を奉り拜禮、正午大祭式を滯りなく終了した

引續き一般氏子の參拜は府內は勿論近郊近在からドイツと繰出し終日境內を埋め盡し無慮二十萬の人出あり敬虔な祈りに銃後の赤誠を披瀝した、午後二時には浦安の舞の奉納あり、第二高女小笠原ヨシ子、村松嘉子、栫井吉子、望月敏、影德家庭女學校、永井彌生、山本良子、滿屋和子、櫻井幸子諸孃の出演に典雅な古武神樂の奉奏あり夜間奉納餘興は陣之內道場出演少年劍士の劍試合、京城角友會主催の素人相撲大會、心吟會同人出演の詩吟大會に賑つた

〝法被〟に〝豆絞り〟
樽神輿も繰り出す

境內は暮まつた赤々と燃える篝火に映えて『天業恢弘』の神旗が夜空にはためく、境內わきの相撲場では奉納餘興の青年相撲が『ワアー、ワツ』と輿をつくつて始められてゐる、肉彈相撃つ決戰に三人拔五人拔と勝負は進み搖々たる筋肉に興亞の意氣が盛上る、左手の臨時舞台では心吟會有志の詩吟大會が催され黑の稽古着に白袴の兒島高德が朗々の吟聲に合はせて武士の悌も凛刺と舞ひ躍つぱひの劍舞、風のやうな拍手が送られ 次は四人組青年の合吟連吟と數十番のプログラムに見事な熱演、數千の聽衆は終始マイクの吟聲に聽入る、乃木神社境內の奉納劍道試合場では陣之內師範の審判で少年劍士の紅

【寫眞＝京城神社々頭賑ひ】

京城府民館で開催
愛國青壯年詩吟大會

時局下詩吟による愛國の至誠を揚すべく、吼山會朝鮮本部主催本社及び總力聯盟ほか三團體の後援による愛國青壯年詩吟大會が十八日午後零時卅分から府民館中堂に開催された

本大會參加者京城府內の男女青壯年約百名、青壯年吟士約八十名ほか各方面の吟士が多數參加しいづれも烈々たる至情を秘めた吟聲で滿堂を熱狂せしめ、鈴木司政局長の〝詩に現はれた熊青年の殉忠精神〟と題する講演あつて同五時散會した

から言つた言葉が半島の遺族百六十四名の胸に更に深く喰ひ込み痛感せられるのであつた、明十九日は帝都を見物して全日程を終り二十日離京一路歸城の途につく豫定である

行屆いた治安
『白衣の天使』に訊く北邊第一線

昨年六月日赤朝鮮本部から病院船に乘り込み、更に北邊第一線陸軍病院に働いた兵隊さんたちを日赤看護婦として獻身一身を捧げつくして來た日赤朝鮮本部齋藤華子さん

この度の從軍は死生の境を彷徨するやうな危險に曝されたことは一度もありませんでした、そしてそが冬に入ると零下三、四十度にもなるので、その惡さの中を拔くのが一番辛い思ひをしました、それで慰問團、たまに送られてくる慰問袋だけです、內地の方たちにとつてはほとんど目につかない小さな喜びでも、前線ではそれが數百倍に擴大されます

たとへば、病院の窓に名も知らぬ花が蕾をもつと兵隊さんはまるでお正月を迎へる子供のやうに指折り數へて花の開く日を待つのです前線から一年數ケ月ぶりで京城へ歸つて參りまして、けふ祭りで女の方たちがきれいに着飾つて歩いてゐられるのを見ますと、前線の荒鷲士と、この華やかな祭の雰圍氣とが私自身の腦の中で大きく喰ひ違つて何だか變な氣がいたします

（こゝが東京日赤本部へ轉勤を命ぜられ途次一年四ケ月ぶりで京城へ晴れの歸還をした、以下主々しい齋藤さんの思ひ出ばなし【寫眞＝前線の思ひ出を語る齋藤さん】

英靈喪の凱旋

【釜山電話】去る八月山西戰線に活躍中公務死を遂げた京城府旭町一ノ一〇出身朝鮮窯業販賣株式會社常務岡崎康一氏の次男治夫上等兵の英靈は嚴父康一氏その他に護られて十七日夕釜山上陸急行〝ひかり〟で喪の凱旋をなした

白試合に烈雨の氣は砂塵を蹴つての眞摯敢闘ぶり、この夜の參拜者は三萬にのぼり夜更くるまで雜沓はつゞいた

海外〝豆ニュース〟

墨軍隊に木銃
メキシコ市からの報道によるとメキシコ政府は同國の參戰に伴ひ十八歲から四十五歲迄の男子に對して徴兵令を適用するに至つたが、これによつて徴兵された新軍隊を訓練する爲に最近十萬挺木銃を發註した政府當局では初期訓練はこの木銃で行ひ、一人前の兵士になつた時に眞物の小銃を與へるのだと稱してゐるが、徴集兵に渡すだけの小銃がないのだと見る向はまだ多い一方で、一部では眞物の小銃を渡すとこの小銃を奪つた軍隊が反亂を起す懼があるので、木銃しか渡せないのだと見てゐる、メキシコらしい話である

勇敢な少年に鐵十字章授與
ドイツの鐵十字章といへば日本の金鵄勳章に等しき軍人最高の榮譽を荷ふものであるが、この鐵十字章が今回例を破つて民間の而かも年少者に授與され目下ドイツ國民の話題の種となつてゐる

最近英國空軍が大擧してオスナブルック市を空襲した時のことである、一庭園師の弟子をしてゐたグエンザー・ハームス君といふ十六才の少年は炸裂する敵の爆彈、焼夷彈の眞唯中で勇敢に活躍、遂に附近に破裂した焼夷彈で全身に大火傷を蒙つたがそれにも屈せず敢然として空襲監視員の使命を全うしたのであつた

この勇敢な行爲に感激した同地方の防衛司令官は早速これをヒトラー總統に傳達、斯くして今回の榮譽ある鐵十字章が授與されハームス君はドイツにおける最年少の鐵十字章佩用者となつた

濠洲の婦人徴用
太平洋の孤兒濠洲が最も惱んでゐた問題は戰時生産工場の不足とこれに伴ふ人的資源の不足である、尨大な面積を有する濠洲は大東亞戰爭勃發と共に躍起して國民防衛に大童の努力を傾倒し始めたが、何分總人口六百卅萬內外のことゝて軍事に男子を動員すれば生産方面がお留守となるので軍隊から人員を工場方面に割當てその缺を婦人で補はうと試み始めた

可弱い婦女子をして男子の代りに軍務に服さしめても能率は上らないがせめて一時を糊塗せんとする濠洲の苦肉の策であらう、陸相フォードは婦人徴募の結果は好成績で現在七千人の應募者があり二個旅團の男子を軍務より解放するに足ると豪語してゐるがかゝる糊塗的手段で濠洲の惱みは解決出來るものではあるまい

南方の兩指導者

日本に憧れるバーモ博士

新生ビルマの父バーモ博士はその逞しい意力から盛上る熱情をビルマ建設の新らしい構想に傾け朝は九時から行政府に出勤し夜八時迄煩雜な政務を綜に捌きながら大東亞共榮圈建設の一翼として日本に協力してゐる

バーモ博士の趣味は讀書である博士は現在このビルマ建設の事業が一段落すれば御禮旁々是非一度日本を訪問したいとジャパニーズ・ヒストリー（日本の歷史）を手にとりながら語るのだつた

博士は男二人、女四人、六人の子福者で政務の餘暇には家庭的な父として令嬢、令息、夫人をかこんで團欒、特に三男の[illegible]バーモ博士の長男ザリモン君（上）の希望は日本の空艦に憧れ日本の飛行學校で勉强したいといふ事である、博士もこれに賛成してをり・ザリモン君も語學と體力增進のため時々ボート・トラに[illegible]

ローヤル湖で見かけることがある

【寫眞＝（上）ジャパニーズ・ヒストリーに讀みふけるバーモ博士】

バルガス長官の忙中閑

比島行政長官バルガス氏は本年五十二歲の働き盛りである、氏は[illegible]年比島體育協會長としてつとめ自らもスポーツを愛好するだけ[illegible]

都市防衛に鐵壁陣
大建築物の責任者を集めて　防空、防火の座談會

建並ぶ歐洲風の家
クチンの街は衞生施設も完備
淸水畫伯　ボルネオを語る

【東京電話】陸軍報道班員として約十ケ月にわたり南方の戰線に彩管を揮へて從軍活躍中であつた淸水登之畫伯は十七日午後七時三十分東京驛着歸京したがボルネオの現狀について次のやうに語つた

陸軍省の愛國號で飛行十六日折から三萬といはれるクチンの町に入つた、原住民の町だから椰子の葉の屋根とか文化施設もないだらうとか想像してゐたが歐洲風の建築物が、たち並び公園あり、病院あり博物館あり、水道設備も完備してゐる

大體ボルネオは交通不便な故か町といふ町はすべて河の兩側に沿つて出來あがつてゐる、リジャン河の水路に臨んでその沿岸の廿メートルの暴風を衝いて飛行された東ボルネオ、ミリの油田地帶の關係の狀況をカンバスに再現するため從軍した、ボルネオはジャングルまたジャングル密林地帶で、いくつかの河によつて出來あがつてゐる土地とでもいへよう、私はまづボルネオ第一の都會、人口約

のゴム林は全ボルネオゴム産額の約五割を産する尨大なものである、またその流域に密生してゐるニッパ椰子は原住民にとつては貴重なもので、そのほか砂糖をはじめとして鹽などをも出してゐる、地下資源も相當豐かでところどころに石炭の露出や金銀の鑛脈も見られる

ダイヤ族は一軒の家に五十人多くは百人といふ大家族主義の生活を營んでゐる

彼らの性質は至極淳朴純情で南方原住民の中でも優れた民族だといはれる、ダイヤ族の家に住み起居を共にしたが『日本人とわれ〳〵の祖先は同じだ』とか『日本人がわれわれを救ひにきてくれて英米な英人を追つぱらつてくれる』と即興詩を唄ひ踊つて歡迎してくれた、このダイヤ族の男の踊りは雄壯活潑、日本の劍舞とよく似てゐる

またクチン近くの唯一の高い山キナバル山は原住民尊敬の的でこの山を神のやうに信仰してゐる、これに登るときは三日間齋戒沐浴しお祈りを捧げるといつてゐる、この山の名がちよつとふるつて面白いと思つた『キナ』は支那『バル』は、後家さんといふ意味で支那人が澤山この山に登り生埋めとなつたため後家さんが澤山出來たといふことである、私はこの山を描いて獻納品にしたいと思つてゐる

大東亞文學者大會
半島側は接伴役
滿華代表に招待狀發送

【東京電話】大東亞の文藝復興を目指し參集る帝都に來る十一月三日の明治の佳節を卜して一週間にわたり繰展げられる『大東亞文學者大會』は主催者側日本文學報國會と情報局はじめ關係各方面との間に打合せ準備中であつたが、このほど決定を見たので滿、華代表文學者に對しそれ〴〵正式の招待狀を發送した

同大會は佛印、泰、ビルマ、ジャワなどの南方諸地域在住文學者をも招致する最初の計畫を大東亞戰爭遂行の關係で變更し今回は滿洲國、中華民國代表二十二名に止めるが日本側は全文壇を擧げてこれに參加するほか朝鮮、臺灣在住の作家も若干名を特に接伴役として加へる

同大會はわが國體の精華と民族の眞髓を認識させるとともに大東亞戰爭の必勝信念と東洋の道義心を高揚して相互の理解と實力を知らせ戰爭目的完遂に手を攜へて挺身協力し、日、滿、華の文藝を筆で結ばうとするものである

大會日程は十一月三日、代表作家、文藝全會員一堂に會して帝國劇場で開會式を擧げ、四、五兩日は大東亞會館で大東亞戰爭の目的完遂のための共榮圈文學者の協力方法、大東亞文藝建設などの主題の下に會議を開き、六日から伊勢神宮參拜のために西下し奈良、大阪、京都を見學九日同地で解散する

怠るなコレラ注射
龍山警察署衞生係ではさきに滿洲奉天省においてコレラの發生があつたので直ちにこれが防疫に萬全を期して撫順、遼陽、鞍山の各勤務者に對し一齊に豫防注射を施行する一方一般の中で同地方から歸城した者或は旅行する者は必ずコレラ豫防注射を受け携帶品は消毒するやう町會を通じて通牒を發した

洋裁基礎短期講習
銃後女性に廢物利用の活用心を指導するとともに洋裁縫の技術方式を普及せねばならぬと綠旗聯盟婦人部では去る十三日から十一月までの二ケ月間に亘り、毎週火曜日の午後一時から同四時まで初音町淸和女塾で長野秋子さんを講師に迎へ、洋裁基礎短期講習會を開いた

商工獎勵館を巡覽
總督、總監兩夫人
小磯總督夫人、田中政務總監夫人は午後二時半から商工獎勵館を同館中立主任案內で巡覽終つて目下同館に開催中の第四回朝鮮輸出工藝品展、第五回全鮮兒童生徒創案品展を約一時間にわたり巡覽した

平南に薄氷
【江西電話】平安南道船橋里附近には十八日朝薄氷が張つたが、今年は例年に比べて十日早い

東京大學野球
立教勝つ　對法大戰
【東京電話】東京大學野球法大對立大、慶大對明治の二試合に十八日神宮球場で擧行、法立戰開始十一時卅五分

法	100000000
立	00000102A

3－1

終了一時四十九分
投捕手　法＝柚木－供東、後藤　立＝藤本－永利

明大惜敗　對慶大戰
【東京電話】明大對慶應野球戰は明大先攻の下に二時五分試合開始慶應は一對〇で明大を破つた

明大	000000000
慶應	00001000A

1A0

終了四時十五分
投捕手　明大　島－田中　慶大　山村－酒井

英の遺産を狙ふ米
相反する利害
聯合國の美名の下に共喰ひ

戰爭は今や文字通り地球の全面を蔽ふ世界戰の段階に突入した、スターリングラード市街を激戰陣地を以て壓迫するドイツ軍、全面にみなぎる反英抗爭、大東亞海全面に繰展げられつゝある進撃極まりなき日本海軍の戰鬪、南方占領諸地域を建設段階にまで引上げた日本陸軍の俊敏極まりなき敢鬪――新興民族群の生命力は正にはちきれんばかりの實行性を着實に發揮してゐる、これに反して、今日まで世界に覇を唱へた『持てる國』英米の抗戰振りと、彼等の呼號せる『實力』は果していかなるものであるか、近代戰の特徴がその終ることなき破壞と建設の戰ひであることは今は何人もこれを疑はない、ドイツの占領地統治政策は若干の局部的失敗はともあれ、全歐洲に完全に豫期の成績を擧げてゐる、日本はまた然り、これに對して英、米陣營にあつては敗戰の立直しに日これ足らざる有樣である

米、英對立の悲劇

米、英は相共に段落に瀕する民主々義を維持、擁護するための戰爭を敢行中であると宣傳してゐる、しかし一度我の批判を、分析の眼を米、英陣營に向けるならばそこには無慙にして必死の共喰的死鬪の行はれてゐる事實に直面せざるを得ない、第二次世界大戰勃發以來聯合諸國家の直面する最大の悲劇は、民主々義國家群の主體たる米、英兩國の利害が表面では恰も一致してゐるかに見えるが、實は全く相反する處にあつた

いかにもアメリカはかつての母國イギリスが危機に直面するや全く第三者的立場から一切の物質力をあげて英國救濟に乘出した、特に昨年六月下旬の獨ソ開戰に至る迄のアメリカは民主々義國の兵器廠としての役割を最も忠實に果しつゝあつた、また戰爭の現段階においてアメリカは歐州、大東亞に亘る廣汎なる戰域において英國と不可分の關係にあり、將來もまた不變の關係を持續するかの如き言辭を弄してゐる

他國を盾の常套策

一方イギリスがアメリカをこの上なき援助者と仰ぎ、必死の抱込工作を行つたのは、老衰帝國の運命を見通し、歐洲戰線において到底ドイツ軍の猛攻に抗し得ずとの見極めをつけ、自信を缺いてゐたことにも一理の原因があるとはいへ、肚の内では民主々義を表看板にして犧牲を獨占することを避け他國をして公平に負擔を分配しようとするジョン・ブル一流のしぶとい傳統的政策を實行したにすぎないと考へることが出來る

歴史は繰返すと言ふ、現在の米英關係は正に第一次歐洲大戰の二の舞だと言つても差支へあるまい、第一次世界大戰當時、イギリスは味方である帝政ロシヤの近東における野望を制止するために執拗な鬪爭を行つた、ダーダネルスを奪取せんとしたイギリスの計畫は、トルコを抑へると共にロシヤをも目標としてゐた、右の如き客觀情勢はまさしく今日の米、英關係を如實に映し出すものである

援英の裏面

米國は英國援助を名としてイギリスに五十隻の老朽驅逐艦を讓渡した、今から二年足らず前の一事件である、當時參戰などを夢にも考へてゐなかつた全米國民は餘りにも獨斷的、且無軌道なるルーズベルト一黨の外交政策に非難と嘲罵の雨を降らせたしかるに突如として政府論難の叫喚が靜まつたのは、アメリカ政府が驅逐艦讓渡の代償として英國よりニューファウンドランドから英領ギニヤに至る八海軍根據地を入手したことを公表したためであつた

第一次世界大戰を踏臺として、アメリカが英國の半植民地的地位を脱却し、新興工業國家として發足したのは今日の米國民により忘却し得ざる歴史及び現實である、第二次世界戰爭を機にアメリカの野望は民主主義國家群の主體イギリスをその王座から引落し、自國がその地位を占めんとしたことは何人の眼にも明らかであらう、援英を名とする『驅逐艦に換へるに英領所得』を以てしたアメリカの動向は、ある意味では歴史的必然であつた

しかも戰爭の終結近きを見透したつもりのアメリカ素人戰術家達の叫びは、今にして實質的對英援助をせざらんか、戰後の發言權を失ふに至るべしといふ突拍子もない議論にアメリカを突入せしめたのであつた、勿論イギリスとてアメリカの下心を推察し得なかつたわけではない、たゞ敗殘の英帝國にとつて事態は餘りにも急を告げてゐたし、アメリカの援助を求めざるを得ないイギリスは米、英陣營における獨佔のパートナーの地位に甘んぜざるを得なかつたのである

英勢力の敗退

大東亞戰爭の緒戰の慘敗が米、英陣に與へた被害は多大である、だが、一旦兩國の蒙つた被害の比重を考へる時、最大の災厄を蒙つたのは英國であることには議論の餘地がない、確かにアメリカはフイリツピンを喪ひ、ハワイを叩かれ、太平洋艦隊を絶滅された、しかし問題はアメリカはかつて大戰爭をしたことのない國である 又英國の如く老衰した帝國ではない、物資、人的資源、生産力に於てとも角世界に比をみぬ程の『持てる國』である

敗戰の現實においてさへもアメリカ側に歩があることは言を俟たない、アメリカの隣國カナダは軍事的にも經濟的にもアメリカの麾下に馳せ參じてゐる、更に最近における濠洲の對英米態度は明らかに英帝國の弱體を是認した上で、對米媚態に轉じたといはざるを得ない、英本國と濠洲との關係をみると、まづ第二次世界大戰勃發以來濠洲は自國陸軍の大部分をあげて英本土ならびに地中海防衞に狂奔した、當時の濠洲は英米の對日過少評價を盲目的に信じ、英本國の救援こそ自國救濟の唯一方策と考へてゐたものゝ如くであつた、さればこそ濠洲は國を擧げて英國救援の運動を展開し、何萬の兵士を英本國に送つたのであつた、しかるに大東亞戰爭が勃發し、濠洲が文字通り『太平洋の孤兒』化するや、英帝國は依然として濠洲からの救援を恐みこそすれ、濠洲に對する援助などを本氣でするはずはなかつたのである

米の野望の方向

かゝる情勢下にあつて濠洲が傳統的な對英依存を對米依存にかへたとて、何の不思議な點があらうか、また英國としても、印度洋を日本に制壓されてゐる現在、何も犧牲を覺悟の上で濠洲救援に乘り出す程太つ肚ではない、寧ろ英國としてはこの際濠洲の對米依存度を強化することによつて、自己の責任を逃れんとしてゐる點が看取されぬでもない、かくてこそバタアン半島を逃げ出した米將マツカーサーは、堂々西南太平洋反樞軸聯合國軍司令官として名實ともに濠洲の守護に首相カーチンすら及ばぬ程の絶對權を占めてゐるのである

一方中南米とくに諸國における英國利權は今日殆んど米國のドル外交の前進によつてヒシヤゲてしまつてゐる、又南方諸國と雖も敗戰挽回の望無き英國よりは地理的にも近接し且つ經濟的にも優位にあるアメリカの麾下に參ずることは自然の成行きであらう、印度に對する英資の減退を見越してアメリカが今後尨大なる投資と利權獲得を目論まぬとは何人も斷言出來ない

今次世界戰爭の長期はすでに軍事專門家の言によらずとも明かである、聯合國の美名の下に同胞相喰む死鬪を展開しつゝある米、特に野心滿々たるアメリカの對英鬪爭は戰爭現段階における最大の關心事といへよう

明治神宮鍊成大會半島代表

相撲 ◇産業從業員府縣對抗▲監督坂井一矩(京電)選士 川島甲(京電)川島三文(京電)嚴漢龍(京電)金澤貞烈(京電)◇中等府縣對抗▲監督 本榮藏(裡里農)▲選士 正雄、島中好信、豊田耕吉 山哲次郎(以上裡里農)

騎道 ◇監督=二木繁市(道警察部)◇選士=濱田象 東)町田兼宣(會社員)大 一(城大)

戰場運動 ◇中等府縣對抗▲監督=濱川正之(濟州商)▲隊長=三好泰典(濟州商)選士=松本昇熙、金光泰道、原起勝、松村鍾寶、松原徹容、松岡成夫、芳賀義一、安本在天、中川博光、國部博吉、金村國平、金光永淳、金本光弘、松原光志、金澤正一、松田吉明(以上濟州商)◇青年學校府縣對抗▲監督=井上二郎(釜山青訓)▲隊長、長尾留雄(釜山青訓)▲選士金森芳男、森彰、岩本一夫、松本眞線、檀信善、河野千之、黑木薫一、宮澤信夫、石本吉榮、守谷健次、池田待夫、松田政夫、城野寛光、增田和善、頭師秋雄、森脇芳雄

行軍訓練 ▲監督兼選士 横山正德(司政局土木課)▲選士 平手貞雄(殖銀)一井邦次(貯銀)辰泰夫(石井工業所)

陸上 ◇一般男子府縣對抗▲監督 池尻正二(東京火災)▲選士 宮本俊雄(海州府廳)鄭村明鉉(元山稅關)岩村永吉(清津廳)道駒崎繁春(日窒)森田俊男(元山鐵道)木本在天(咸南利原)金海重雄(梨花女教員)◇男子中等府縣對抗▲監督池尻正二▲選士 德原季寅(濟州一中)金本基俊(培材中)光本武男(咸興永生中)大山鎭孝(培材中)◇女子一般府縣對抗▲監督本鄕節太郎(京城第一女教諭)▲選士、鄭任順(梨花女)馬場美代子(京城第一)月城榮子(進明女)小川貴英(同德女)德力光子(京城第一)

ラジオ

夜 六・〇〇お話『ビルマの白象』赤岸幸輔▲六・三〇『支那に於ける科學的斷片』島祐利▲七・三〇『第二戰線と英』堀公一▲七・五〇(ベルリンより)ドイツ通信▲八・〇〇1獨唱曲『雁』(解說)2雅樂―李王職雅樂部より中繼『威寧之曲』李王職雅樂部(城)歌謠曲(解說)▲九・〇〇1『歌と管絃樂』2鍛へる勤勞 東部國民勤勞訓練所にて

愛の赤道 (243)
竹田敏彦(作) 都竹伸一(繪)

常夏の島(九)

……のことは何處までも……ために、祕密に願ひますよ』

『いや、承知いたしました。何ういふことか存じませんが、あなたがさうまで仰有ることでしたら、口が腐つても他言はいたしません』

原田は、はつきり誓ひながらも、それほど言ふ祕密とは何ういふことか、好奇と怪訝の眼を円くして言つた。

『有難う存じます』

丸山は、原田に應へると、

『實は、大槻二郎の一身上の問題です……もう二ケ月にもなりませうか、内地から歸つて以來、瑞木さんと大槻君との間に、どうも不穩な感情の疎隔を見るが、何ういふことか糺してくれ、さういつてあなたから頼まれたことがありましたね』

『隣にあります……瑞木さんの前ですが、お兄さんの御遺志もあることで、成ることなれば御両君の間を、我々同僚は、心から望んでゐましたのに、どうした譯か、途中から、双方の氣持が妙にこぢれて見える、今もつて、不審でならないのです』

原田は、ちらと佐香子を見た。

丸山は微笑をふくんで、

『それは、かうなんです……』

『瑞木さんが、東京へ御歸省中に、大槻君の不祥な噂を聞いてゐらしたんです。いや、それも噂ならよろしいが、もつと深刻な不行跡……』

『不行跡? どんなことでせうか』

原田は、思はず膝を躙らせた。

『或る婦人に、子供を宿らせたのです。しかも、その婦人は、瑞木さんの歸省を知つてわざ／＼手紙を寄越したり、會ひにまで來てゐる始末なんです。瑞木さんは避けて會はなかつたが、大槻君の兄さんにだけは、そのことを言つて、電報で訊ねたさうです。しかも大槻君自身はこれについて一言の辯明もないのです……これが、御両君の隔膜の原因なんですよ』

『へえ、そんなことが……』

原田は半信半疑の眼を瞠つた。

『ところで、瑞木さん……』

丸山は、改めて、佐香子の方へ向き直ると、

『それは、みな、嘘だつたのです』

『えつ?』

おつと眼をみはらせて、原田と丸山の會話を聞いてゐた佐香子が、途端に顏を上げた。

新刊紹介

▲成層圏へ(オーギュスト・ピカール著・岩崎文吉譯)人類最初の成層圏上昇者ピカール教授の手記である、單なる成層圏への上昇記錄でなく、一つの大きな仕事がどのやうにしてなしとげられたか、つまり人と物と制度と美しい協調が見出される(一円八十錢・東京・神田・小川町三ノ八、白水社)

▲自習東印馬來語(朝倉純孝著)本書は東印度を中心とする馬來語を『東印度地方へ赴く人々に修得して貰ふことを目的』とするもので文法篇と譯讀篇とに別ち文章に關係ある頁まで挿入した實用向きの書(二円、東京・京橋、木挽町八の十七タイムス出版社)

▲古事記(新屋敷幸繁著)國語文に譯した古事記で小國民諸君にお勧めする(一円五十錢、東京京橋三丁目二、開發社)